

TORO®

振動低減キット
Groundsmaster® 3300 シリーズ トラクションユニット
モデル番号 144-4050

取り付け要領

取り付け

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	必要なパーツはありません。	—	マシンの準備を行います。
2	必要なパーツはありません。	—	アタッチメントを外します搭載の場合。
3	ドリル用型紙	1	ドリル用型紙を用いてフレームに穴を開けます。
4	必要なパーツはありません。	—	既存の油圧ラインを取り外します。
5	六角ソケットねじ 5/16 x 1 ³ / ₄ " ワッシャ 11/16" ナット	2 2 2	運転台をフレームチューブに固定します。
6	油圧ホース ストレートフィッティング 45° フィッティング	1 1 1	ステアリングバルブと油圧ポンプにホースを接続する。
7	油圧ホースガード 六角ソケットねじ 5/16 x 7/8" ワッシャ 11/16" ナット キャリッジボルト ステアリング取り付けブラケット 六角ヘッドボルト 5/16 x 1" ワッシャ 3/4"	1 6 6 16 6 1 4 4	油圧ホースガードとスティフナを取り付けます。
8	必要なパーツはありません。	—	組み立てを完了します。



1

マシンの準備を行う

必要なパーツはありません。

手順

1. 平らな場所に駐車する。
2. 駐車ブレーキを掛ける。
3. アタッチメントを降下させる。
4. エンジンを止め、キーを抜き取る。

2

アタッチメントを取り外すには 装着されている場合

必要なパーツはありません。

手順

1. アタッチメントが取り付けられている場合は外すトラクションユニットのオペレーターズマニュアルを参照。
2. 作業の邪魔にならないように、PTO シャフトをひもなどで固定する。

3

ドリル用型紙を用いてフレーム に穴を開ける

この作業に必要なパーツ

1	ドリル用型紙
---	--------

1. ドリル用型紙から、ステイフナ用ドリル穴用の型紙を取り出す。

注 はさみを使って切り出して構いません。

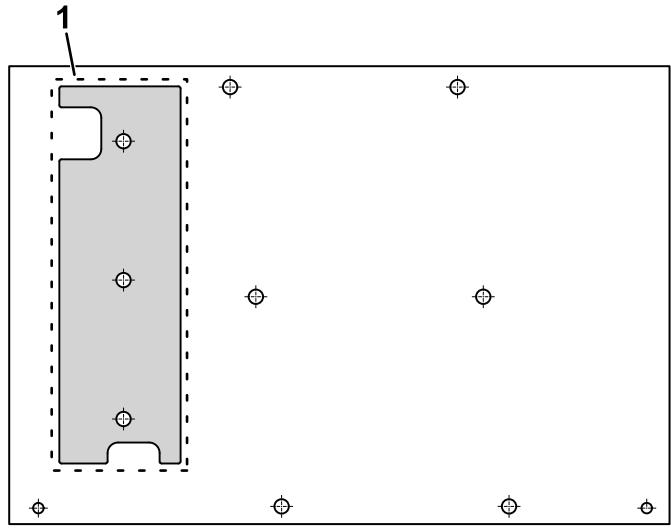


図 1

1. スティフナ用ドリル穴用型紙

2. ステアリングコラムのベース部周囲のボルトをゆるめてベースを浮かす図 2。

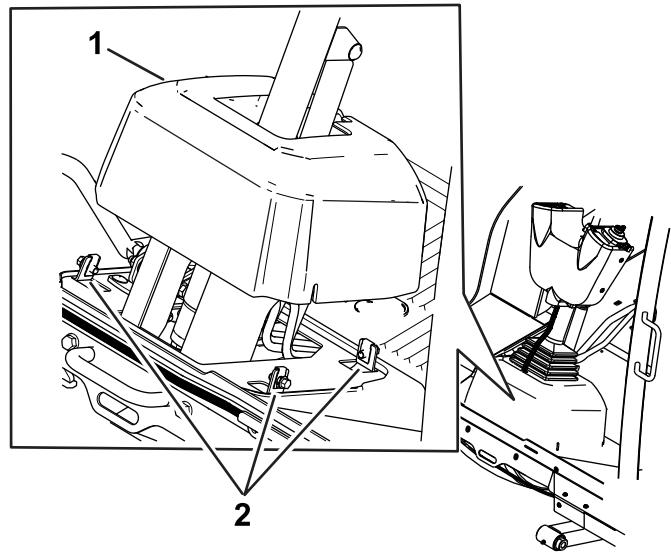


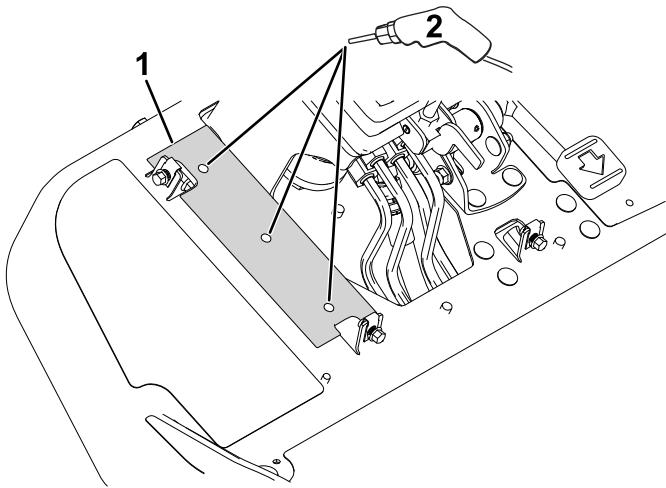
図 2

1. ステアリングコラムのベース 2. ボルト

3. 図 3に示すように、ステイフナ用ドリル穴用の型紙の切れ込み部を運転台の切れ込み部に合わせる。

手順

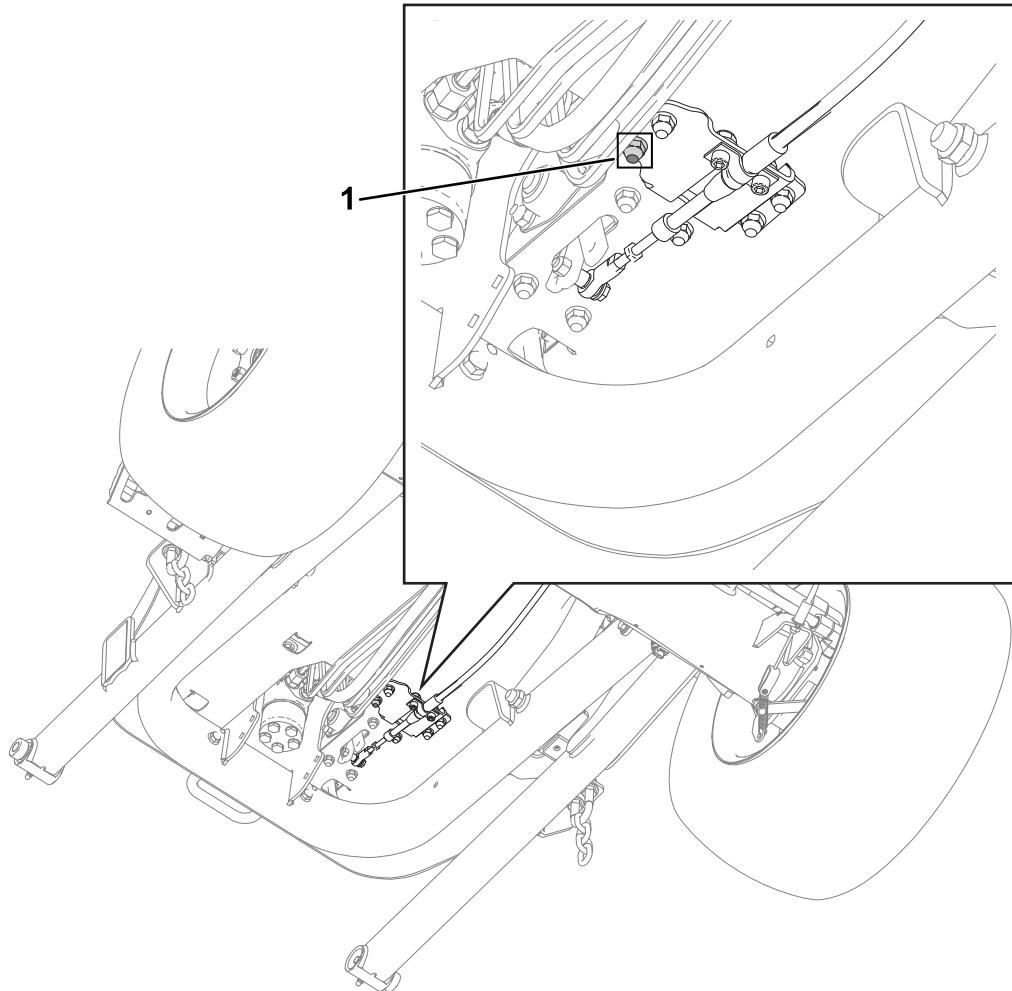
ドリル用型紙はこのキットの付属部品バッグに入っています。この型紙を使って、運転台の2ヶ所に以下のよう穴を開けます



g363934

図 3

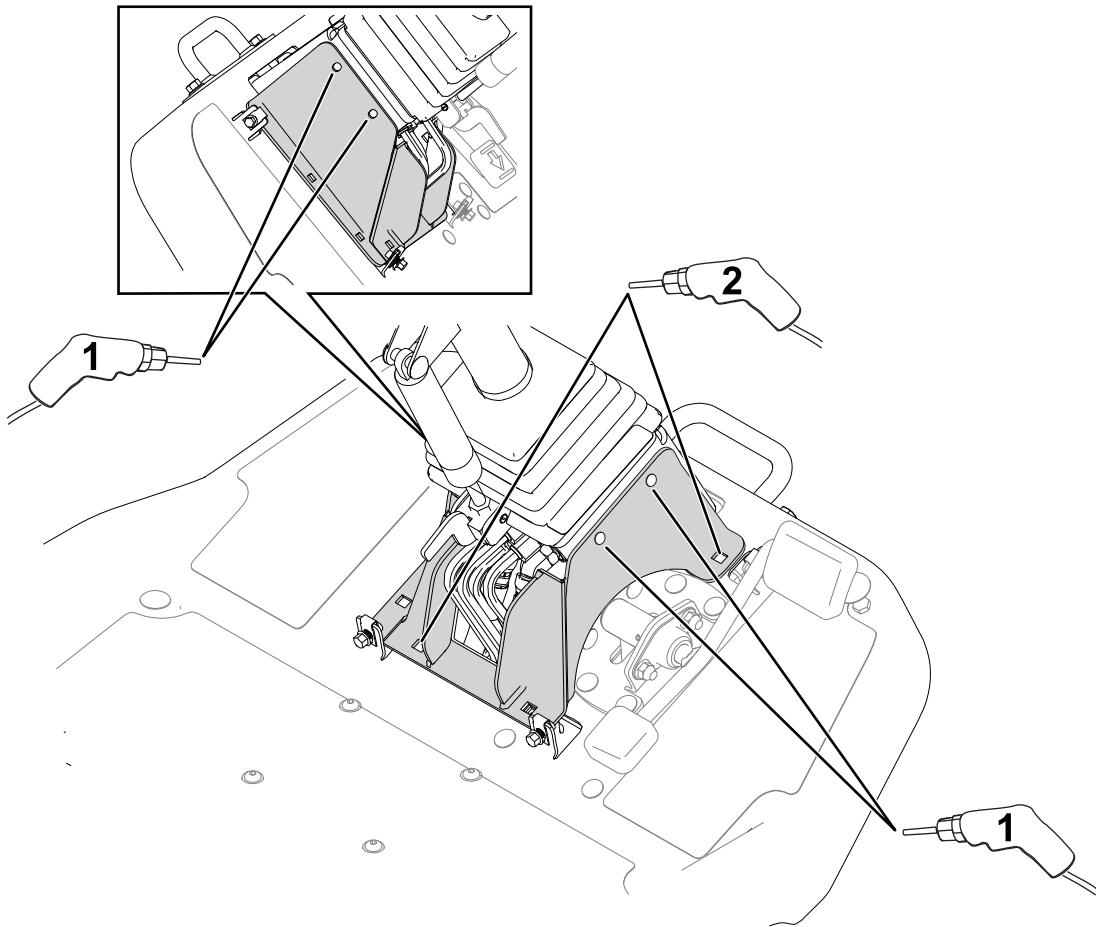
1. スティフナ用ドリル穴用型紙
2. 直径 9.6 mm $\frac{3}{8}$ "を3つ



g370232

図 4

1. 走行ケーブルブラケットからこのボルトとナットを外す。
6. 運転台に先ほど開けた穴図 3にステアリング取り付けブラケットを合わせる。
4. 型紙に示された3ヶ所に、直径 9.6 mm $\frac{3}{8}$ "を開ける。
5. 図 4のように、走行ケーブルブラケットからボルトとナットを外す。
7. 既存のブラケットの穴を使って、直径 9 mm $\frac{3}{8}$ "の穴を運転台に2つ、ステアリングバルブ取り付けブラケットに4つ開ける図 5。

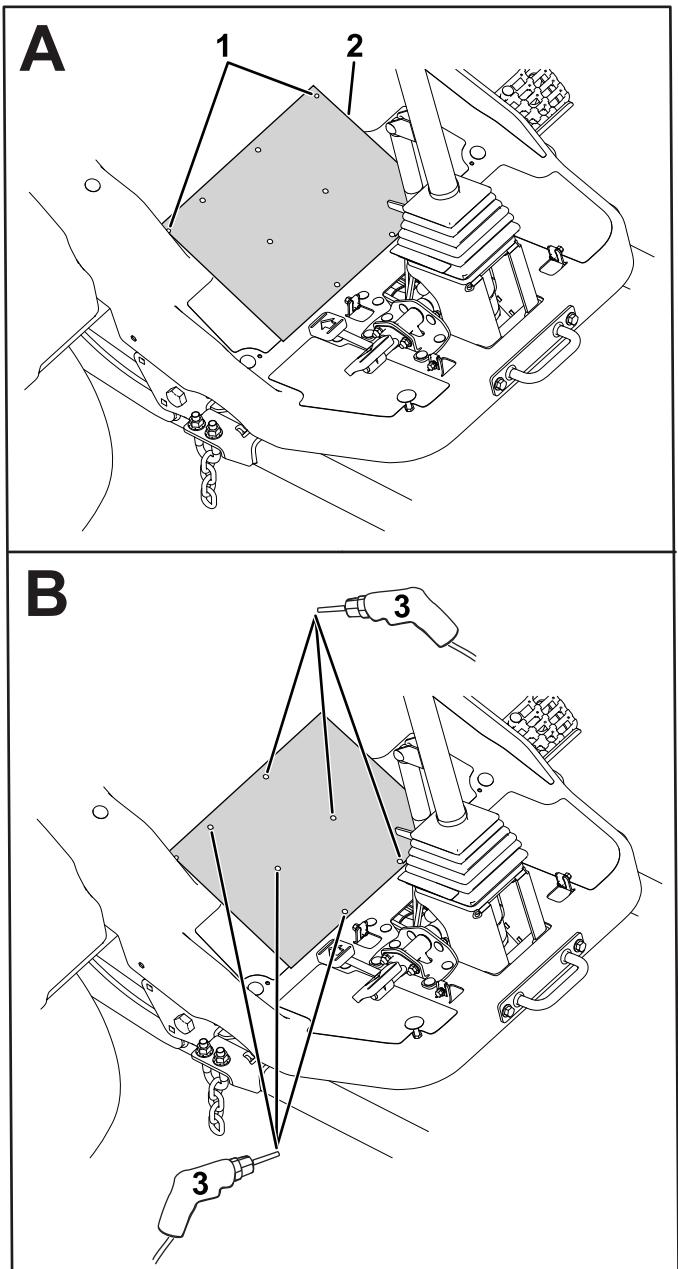


g370246

図 5

1. ステアリングバルブ取り付けブラケットに穴9 mmを開ける。
2. 運転台に穴9 mmを開ける。

8. ドリル用型紙にある水抜き穴用のマークを、運転台の水抜き穴に合わせる。



g363933

図 6

1. 運転台の水抜き穴に型紙 3. 直径 $3\text{ mm } \frac{3}{8}\text{"}$ を6つ
を合わせた状態。
 2. ドリル用型紙
-
9. 型紙に示された6ヶ所に、直径 $9.6\text{ mm } \frac{3}{8}\text{"}$ を開
ける。

4

既存の油圧ラインを取り外す

必要なパーツはありません。

手順

図7に示された既存の金属製油圧ラインを外す。

油圧ラインは以下のポートに接続されている

- ステアリングバルブP
- 油圧ポンプOUT

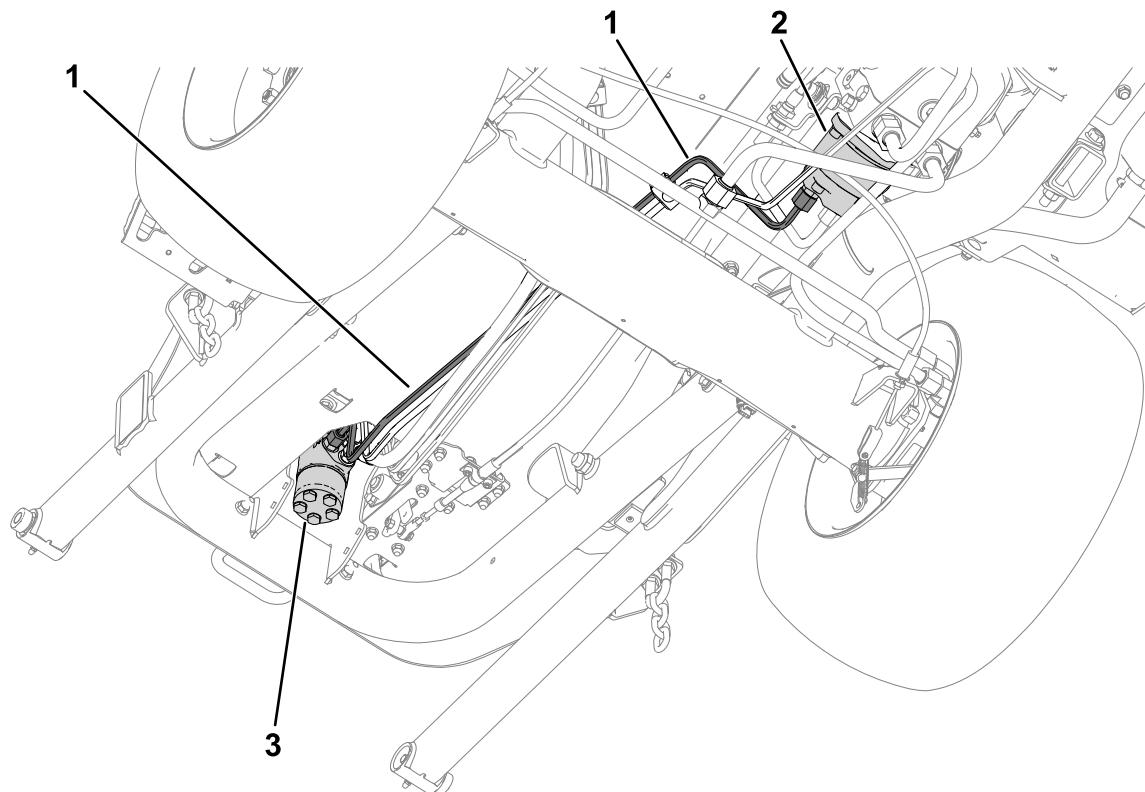


図7

1. 油圧ライン
2. 油圧ポンプ
3. ステアリングバルブ

g363634

5

運転台をフレームチューブに固定する

この作業に必要なパーツ

2	六角ソケットねじ5/16 x 1 3/4"
2	ワッシャ11/16"
2	ナット

手順

- 機体をジャッキアップするトラクションユニットのオペレーターズマニュアルの該当箇所を参照。
- 右前のタイヤ運転席から見てを外す。

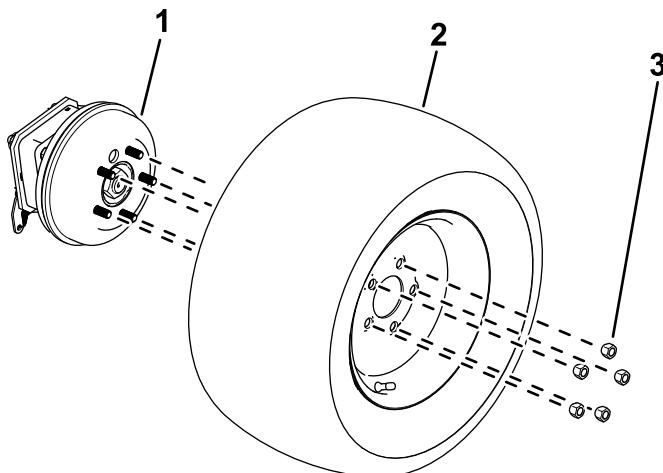


図8

- ホイールハブ
- タイヤ
- ラグナット

- 既存のフレームチューブ用穴を使って、運転台に直径9 mm 11/32"の穴を開ける。

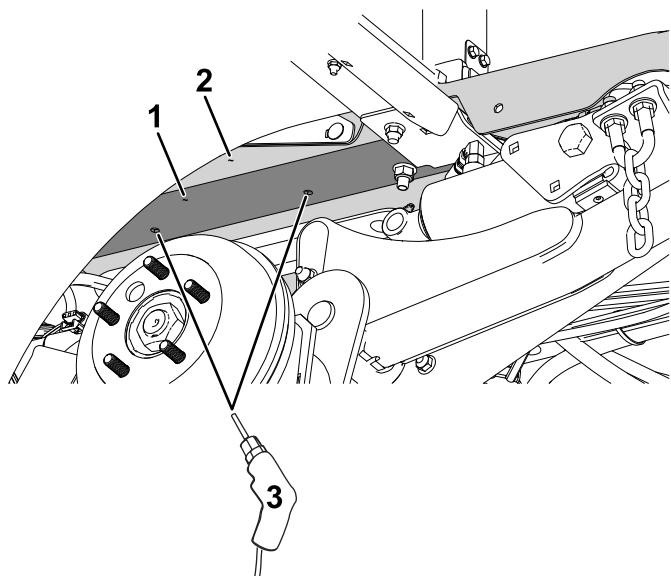


図9

- フレームチューブ
- 運転台
- 既存のフレームチューブの穴を貫通させて直径9 mmの穴にする。
- 六角ソケットねじ5/16 x 1 3/4"2本、ワッシャ11/16"2枚、ナット2個を使用して運転台をフレームチューブに固定する。

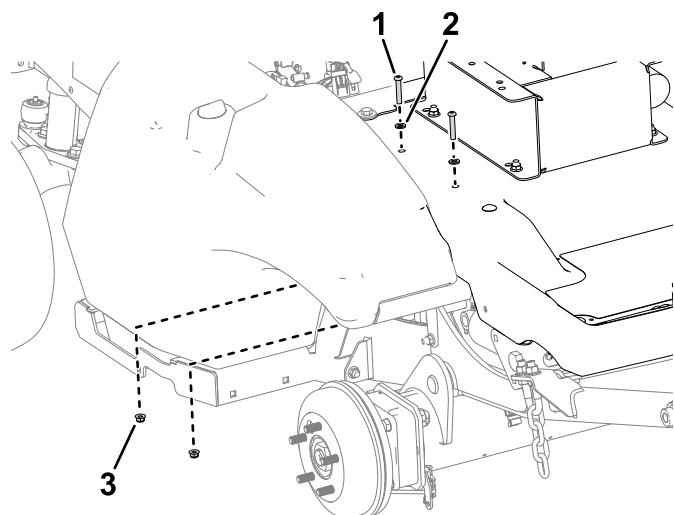


図10

- 六角ソケットねじ
- ワッシャ11/16"
- ナット

- タイヤを取り付ける。

6

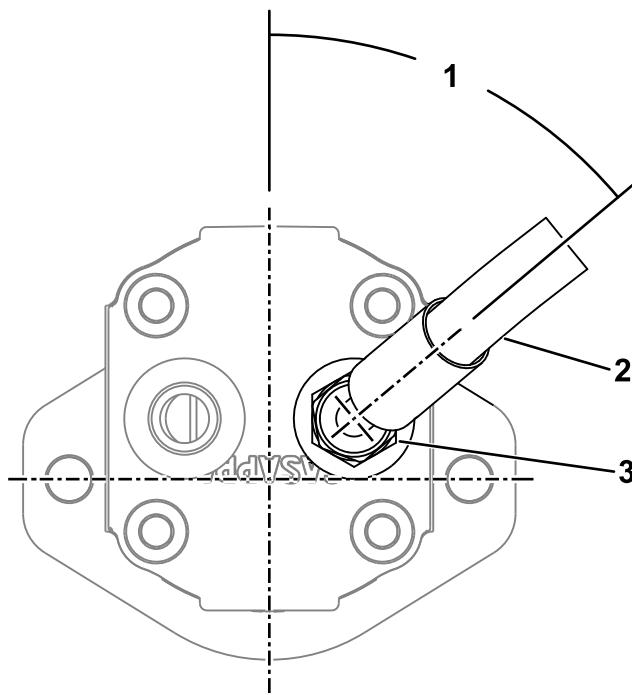
ホースを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	油圧ホース
1	ストレートフィッティング
1	45° フィッティング

手順

1. 油圧ポンプについているフィッティングを外し、代わりにストレートフィッティングを取り付ける。
2. ストレートフィッティングに油圧ホースの 45° フィッティングを取り付け、50° の角度に調整する図 11。



g363805

図 11

1. 50°
2. 45° フィッティングの付いた油圧ホース
3. ストレートフィッティング
3. ステアリングバルブについているフィッティングを外し、代わりに 45° フィッティングを取り付けて下向きにする。
4. 油圧ホースのストレートフィッティングを、新しく取り付けた 45° フィッティングに図 12 のように取り付ける。

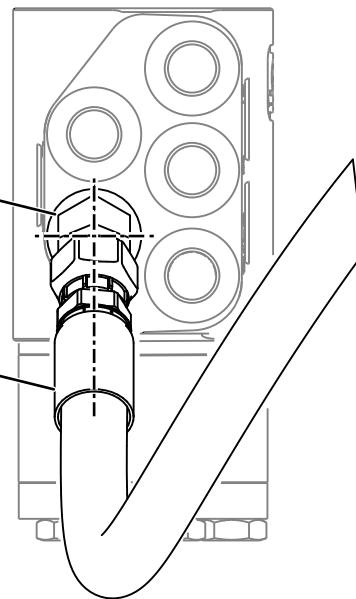


図 12

g363806

1. 45° フィッティング

2. ストレートフィッティングの付いた油圧ホース

5. 油圧ホースのルートが図 13 のようになっていることを確認する。

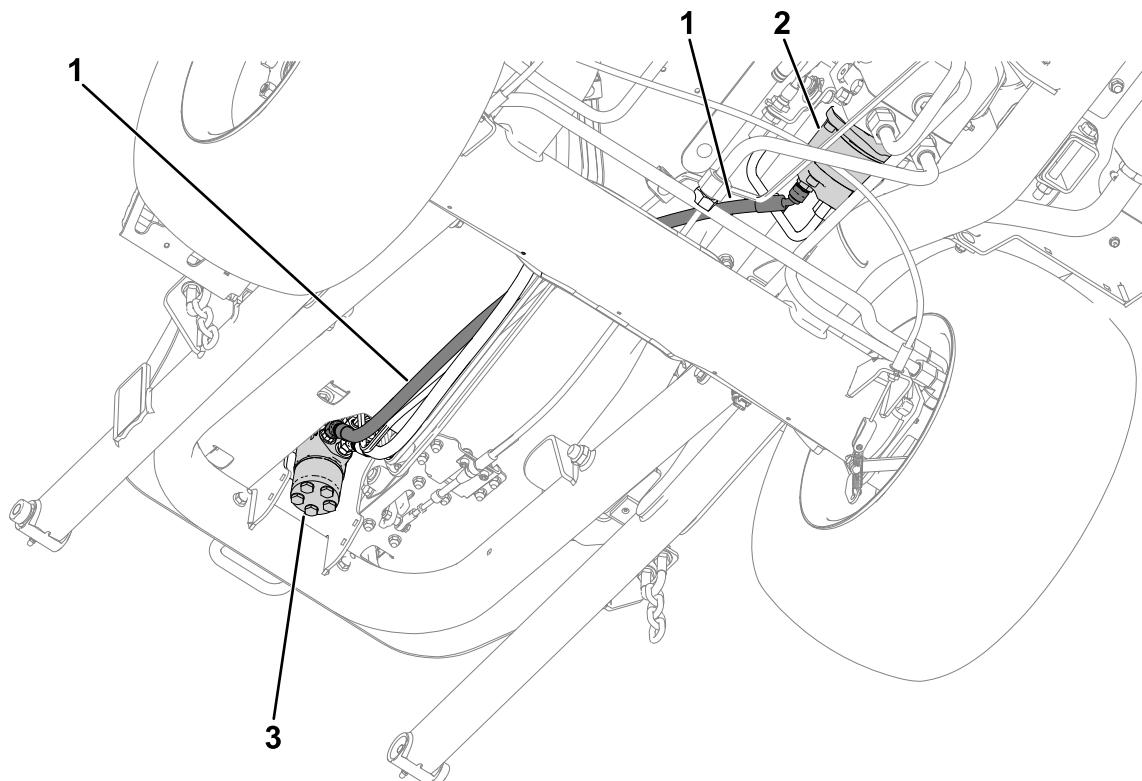


図 13

g363637

1. 油圧ホース
2. 油圧ポンプ

3. ステアリングバルブ

6. ホースとフィッティングが、図 11 および図 12 に示すように配置されており、次に既存のラインに接続する際にねじれが生じないことを確認する。

7

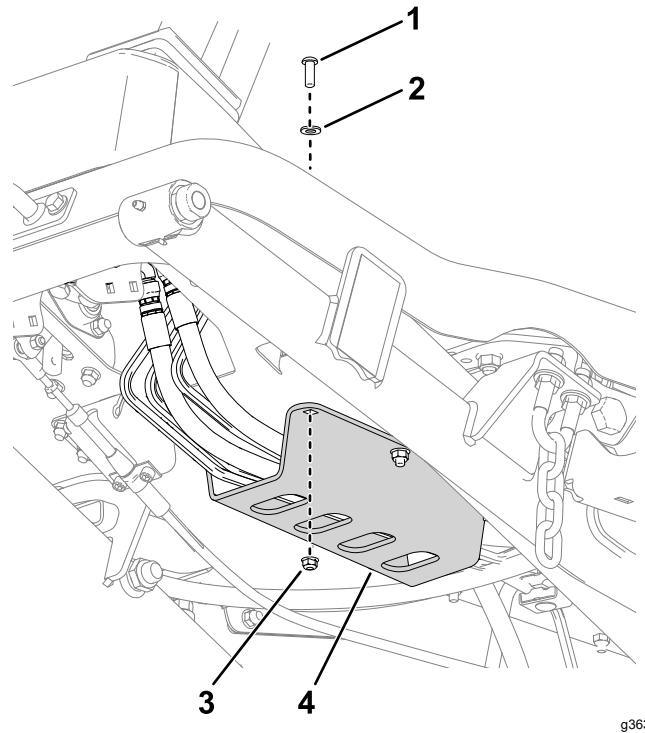
油圧ホースガードとステアリング取り付けブラケットを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	油圧ホースガード
6	六角ソケットねじ5/16 x 7/8"
6	ワッシャ 11/16"
16	ナット
6	キャリッジボルト
1	ステアリング取り付けブラケット
4	六角ヘッドボルト5/16 x 1"
4	ワッシャ 3/4"

手順

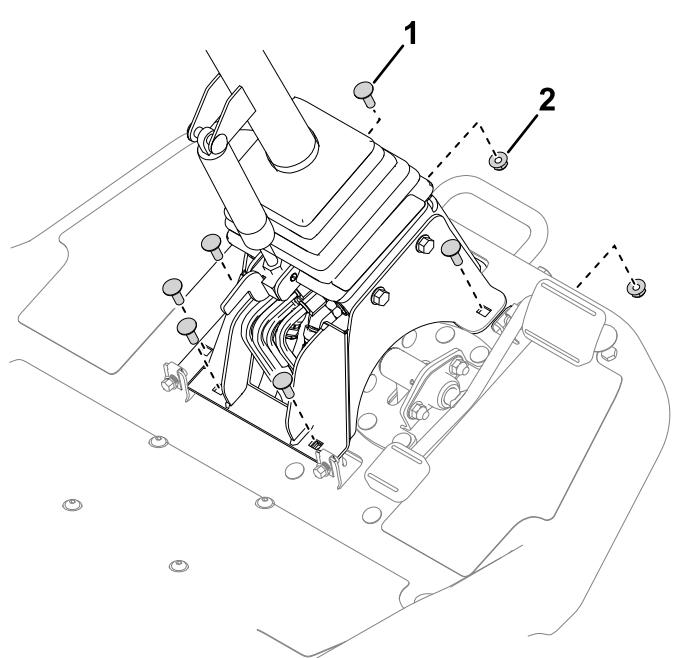
1. 六角ソケットねじ5/16 x 7/8" 6本、ワッシャ 11/16" 6枚、ナット 6個を使用してホースガードをフレームに固定する。
すべての油圧ラインとホースが図 14に示すようにホースガード内部に入っていることを確認する。



g363951

図 14

1. 六角ソケットねじ5/16 x 7/8" 3. ナット
2. ワッシャ 11/16" 4. ホースガード
2. キャリッジボルト 6 本とナット 6 個を使用して、ステアリング取り付けブラケットをフレームに固定する図 15。

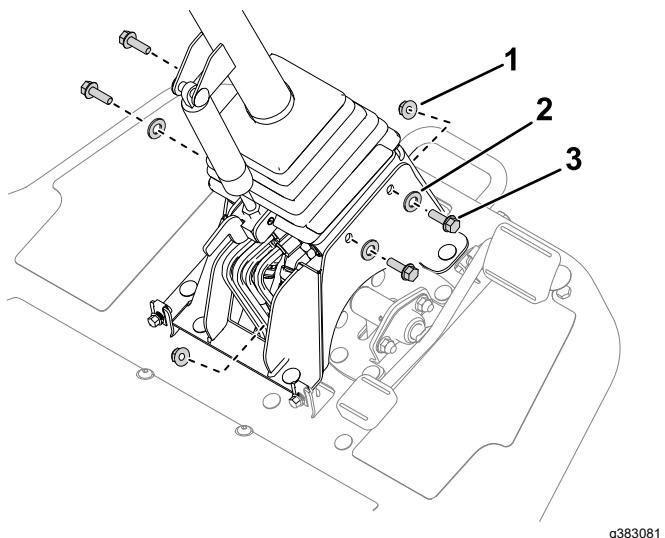


g370248

図 15

1. キャリッジボルト
2. ナット
3. ステアリング取り付けブラケットをステアリングバルブ取り付けブラケットに取り付ける六角ヘッド

ボルト5/16 x 1" 4 本、ワッシャ $\frac{3}{4}$ "4枚、ナット4個を使用する**図 16**。



g383081

図 16

1. ナット
2. ワッシャ $\frac{3}{4}$ "
3. 六角ヘッドボルト5/16 x 1"

8

組み立てを完了する

必要なパーツはありません。

手順

1. 機体を床面に降ろす。
2. アタッチメントを取り付けるトラクションユニットのオペレーターズマニュアルの該当箇所を参照。
3. 以下の操作を行って油圧システム内部のエアをページする
 - アタッチメントを最高位置まで上げ下げする。
 - ハンドルを左右一杯に切る。



Count on it.